第１回　国際標準化対応支援委員会／運営委員会　国際会議補助報告書
（第 161 回　IEC 活動推進委員会／運営委員会）

資料 No.	＜SC62A 関係＞国際会議報告書
161-3／SC62A-①	SC62A/JWG7「IT ネットワーク機器のリスクマネジメント」サンディエゴ会議報告書 20070111-20070113
資料 No.	＜SC62D 関係＞国際会議申請書
161-3／SC62D-①	SC62D/MT16「医用光学機器／内視鏡」フランクフルト会議報告書 20070313～20070317
資料 No.	＜TC80 関係＞国際会議申請書
161-3／TC80-①	TC80/WG7「ECS（電子海図システム）」アーリントン会議報告書 20070219～20070223
資料 No.	＜TC100 関係＞国際会議申請書
161-3／TC100-①	TC100/TA9 & JTC1/SC25 Coordination Meeting（北京）報告書 2007-0301
資料 No.	＜CISPR 関係＞国際会議申請書
161-3／CISPR I-①	CISPRI/WG4、WG2「マルチメディ機器等に関する EMC」パリ会議報告書 20070108～20070109

様式 4

（社）電子情報技術産業協会
IEC 活動推進委員会　御中

運営委員会・資料番号：　161-3/SC62A-①　（事務局記入）

提出日：2007 年 1 月 31 日

（報告者記載）整理番号：　H18SC62A⑭

IEC 国際会議出席報告書

TC/SC/TA 担当委員名：市川義人　報告書作成者氏名：　神谷正樹　（会社名）㈱東芝

出席会議名（半角）	区　分	組織番号 (TC/SC/TA)	SC62A/JWG7 (半角)
SC62A/WG7	☒TC ☒SC ☐TA ☒WG ☐PT ☐その他		
	☐TC ☐SC ☐TA ☐WG ☐PT ☐その他	名　称 (日本語)	IT ネットワーク機器のリスクマネジメント
	☐TC ☐SC ☐TA ☐WG ☐PT ☐その他		
	☐TC ☐SC ☐TA ☐WG ☐PT ☐その他	☒単独開催　☐同時開催	
開　催　期　日	2007 年 1 月 11 日 ～ 2007 年 1 月 13 日		
開　催　場　所	（国名）米国	（都市名）サンディエゴ	
ﾁｪｱﾏﾝ／ｺﾝﾍﾞﾅ	Sherman Eagles / Todd Cooer	幹事国　米国	
参　加　国及び 参　加　人　数	6 ヶ国、主な国名 米国、ドイツ、カナダ、英国、韓国、日本、参加人数（37）		
日　本　人 出席者名（会社名）	[○：補助対象者・・・（例）：○ 電子太郎(JEITA 電子)] ○中里俊章（東芝メディカルシステムズ）、神谷正樹（東芝メディカルシステムズ）		

議事概要（背景・目的・成果・問題点など）（この欄は、見かけは1行ですが、所定欄に改行しながら最大28行まで記入できます。）

[背景・目的]　会議に先立って、JWG7 提案の"Application of Risk Management for IT-Netowork incorporating medical devices"の策定に関する NWIP（新ワークアイテム）について審議の結果、承認された。これを受け、IEC SC62A/ISO TC210/TC215 合同国際会議となった。この NWIP では、医療機器のみならずルータ等の IT 機器等が接続されたネットワークについてのリスク管理を対象とする。そのため、参加者は、医療機器ベンダ以外に　Cisco 等の IT 機器ベンダも参加している。

[議事・内容]

1. 病院等の IT ネットワークに医療機器、非医療機器が接続される場合のリスクマネージメントについて、FDA　の Brian 氏（FDA Software person：今回欠席）から "Application of Risk Management of IT-Netowrok incorporating medical device"のドラフトが提案され、これを元に JWG7 にて審議していくことが承認された。
2. JWG7 に対して、IEC SC62A、ISO TC210 および ISO TC215 の合同会議として IEC80001 を以下の予定で審議を進める。
   1stCD　2007/07,　2ndCD　2008/03,　1stCDV　2009/02,
   FDIS　2010/03,　IS　2010/07
3. ドラフトについて 4 つのサブグループに別れ、それぞれの部分ごとに内容についての議論を行い、議論の内容について出席者で質疑応答を行った。この内容については、後日、JWG7 の Web ページに掲載される予定。

[今後の予定]

・2007/05/07 からドイツ　ライプチヒにて第二回の JWG7 国際会議を行い、審議を進める予定。

[注]：1. 該当者は、出席会議終了後[6週間以内]に TC/SC/TA 担当委員経由で、IEC 活動推進委員会事務局宛ご提出下さい。
国際会議出席報告書の審議・承認の後に補助金を支払う。
会議終了後速やかに提出し、直近の運営委員会にて審議・承認を受けることが望ましい。
2. 本報告書は、同一会議に2名以上出席の場合、代表者が提出してください。
3. WG が TC/SC/TA と同時開催の場合は、WG 会議内容は TC/SC 報告に含めて報告書を提出して下さい。
4. 報告書の追加、訂正が生じた場合は、運営委員会開催後1週間以内に事務局に提出して下さい。
5. この報告書は、手続き完了後、JEITA ホームページ「IEC 活動推進委員会」に掲載し、会員企業への報告に替えます。

IEC 活動推進委員会事務局：(社)電子情報技術産業協会　標準化センター
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-11（三井住友海上別館ビル）　Tel：03-3518-6435　Fax：03-3295-8727

(TSC-06 様式 2006.3)

（社）電子情報技術産業協会
IEC 活動推進委員会　御中

運営委員会・資料番号：161-3／SC62D-①（事務局記入）

提出日：2007 年 3 月 22 日

（報告者記載）整理番号：H18SC62D ④

IEC 国際会議出席報告書

TC/SC/TA 担当委員名：内藤 正章　報告書作成者氏名：市川義人　（会社名）オリンパス㈱

出席会議名（半角）	区分	組織番号 (TC/SC/TA)	SC 62D／（半角）
MT16	☒TC ☒SC ☐TA ☐WG ☐PT ☐その他		
	☐TC ☐SC ☐TA ☐WG ☐PT ☐その他	名称（日本語）	医用光学機器／内視鏡
	☐TC ☐SC ☐TA ☐WG ☐PT ☐その他		
	☐TC ☐SC ☐TA ☐WG ☐PT ☐その他	☒単独開催 ☐同時開催	
開催期日	2007 年 3 月 13 日 ～ 2007 年 3 月 17 日		
開催場所	（国名）独	（都市名）フランクフルト	
ﾁｪｱﾏﾝ／ｺﾝﾍﾞﾅ	Mathias Marzinko	幹事国　独	
参加国及び参加人数	3 ヶ国、主な国名 ドイツ、英国、日本、参加人数（5）		
日本人出席者名（会社名）	[○：補助対象者･･･（例）：○ 電子太郎(JEITA 電子)] ○市川義人（オリンパス（株））		

議事概要（背景･目的･成果･問題点など）（この欄は、見かけは 1 行ですが、所定欄に改行しながら最大 28 行まで記入できます。）

[背景・目的]　IEC 60601-1 第３版の発行に伴い、個別規格である IEC 60601-2-18 医用光学機器も改版を行なうことになった。2008 年２月までに CDV に達しない規格は廃案にすべきとのデルフト SC62D 会議での指示もあり、早急な規格作成が求められている。

[議事・内容]

1．規格の全要求事項及び付属書の審議が終了し CD の作成はほぼ終了した。

2．付属書に掲載予定の一部図が確定していないが、分担して作成し、４月は初旬に IEC セントラルオフィスに原案送付する。

3．CD 発行は２００７年５月第一週を予定。IEC 60601-2-2 電気メス規格への整合は、この CD に基づき５月の MT17 会議で行なう。

4．規格の日程 CDV：2008 年 1 月、FDIS：2008 年 11 月、IS:2009 年２月を予定

[今後の予定]

・2007/10 ロンドンにて CD に対するコメント審議及び CDV 作成のための国際会議を行なう予定。

[問題点]

・セクレタリーである英国メンバーが退社に伴い MT16 のセクレタリーを継続できるか分からない状態になった。ネイティブが１名もいなくなるため早急に対応をとる必要がある。

[注]：1. 該当者は、出席会議終了後[6週間以内]に TC/SC/TA 担当委員経由で、IEC 活動推進委員会事務局宛ご提出下さい。
国際会議出席報告書の審議・承認の後に補助金を支払う。
会議終了後速やかに提出し、直近の運営委員会にて審議・承認を受けることが望ましい。
2. 本報告書は、同一会議に2名以上出席の場合、代表者が提出してください。
3. WG が TC/SC/TA と同時開催の場合は、WG 会議内容は TC/SC 報告に含めて報告書を提出して下さい。
4. 報告書の追加、訂正が生じた場合は、運営委員会開催後1週間以内に事務局に提出して下さい。
5. この報告書は、手続き完了後、JEITA ホームページ「IEC 活動推進委員会」に掲載し、会員企業への報告に替えます。

IEC 活動推進委員会事務局：(社)電子情報技術産業協会　標準化センター
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-11（三井住友海上別館ビル）　Tel：03-3518-6435　Fax：03-3295-8727

(TSC-06 様式 2006.3)

（社）電子情報技術産業協会
IEC 活動推進委員会　御中

運営委員会・資料番号：161-3／TC80-①（事務局記入）

様式 4

提出日: 2007 年 3 月 6 日

（報告者記載）整理番号：H18TC80⑦

IEC 国際会議出席報告書

TC/SC/TA 担当委員名：矢内　崇雅　　報告書作成者氏名：　田北　順二　（会社名）日本無線（株）

出席会議名（半角）	区　分	組織番号 (TC/SC/TA)	TC80（半角）
TC80/WG7	□TC □SC □TA ☒WG □PT □その他		
	□TC □SC □TA □WG □PT □その他	名　称（日本語）	ECS（電子海図システム）
	□TC □SC □TA □WG □PT □その他		
	□TC □SC □TA □WG □PT □その他	☒単独開催 □同時開催	
開催期日	2007 年 2 月 19 日 ～ 2007 年 2 月 23 日		
開催場所	（国名）米国	（都市名）アーリントン	
ﾁｪｱﾏﾝ／ｺﾝﾍﾞﾅ	Joe Ryan	幹事国　米国	
参加国及び参加人数	7 ヶ国、主な国名 米国、UK、ロシア、フランス、ノルウェー、ドイツ、日本、参加人数（17）		
日本人出席者名（会社名）	[○：補助対象者･･･（例）：○ 電子太郎(JEITA 電子)] ○ 田北 順二（日本無線）		

議事概要（背景･目的･成果･問題点など）（この欄は、見かけは1行ですが、所定欄に改行しながら最大28行まで記入できます。）

1．背景

非 SOLAS 船用の電子海図システム(ECS)に関する規格 IEC 62376 作成委員会である。

2．目的

2006 年 5 月に開催された WG7 会議にて、ECS のクラス A, クラス B, クラス C の定義及び表示器の最低要件が決定したのを受けて、それぞれれのクラスに要求される IEC 60945（一般性能要件）、IEC 62288（表示要件）の中から ECS に要求される Clause を制定し、IEC 62376 の最終 CD を完成させる。

3．成果

3．1　ECS に対する IEC 60945（一般性能要件）の適用

・操作に関する要件は、クラス A, B に適用し、クラス C には適用しない。
・警報と表示に関しては、クラス A, B に適用し、クラス C には適用しない。
・電源については、全クラスに適用する。
・温度試験、振動試験、EMC 試験は、全てのクラスに適合が要求される。（塩水噴霧試験はクラス A のみ適用）
・音響ノイズと警報レベル試験は、クラス C には適用しない。（クラス C は警報の音量が十分に確保できない）

3．2　ECS に対する IEC 62288（表示要件）の適用

・表示についての整合性は、クラス A, B に適用が要求される。クラス C についても、用語、省略語は IEC 62288 に適合すること。
・全てのクラスで、海図情報の色、シンボルは、IHO の Presentaion Libararyに従うこと。
・全てのクラスで、海図情報レイヤーが最優先で表示されること。
・警報（ステータス）表示は、クラス A, B に要求される。（クラス C は、除外）
・方位と距離機能やの測定やカーソル表示は、クラス A, B に要求される。（クラス C は除外）

3．3　各クラスで使用する表示器の最低要件

表示機のサイズ、クラス A：250mm x 250mm,クラス B：166mm x 166mm、クラス C：101mm x 101mm とその分解能は、クラス A：1280 x 1024、クラス B：800 x 600、クラス C：640 x 480 については、妥当とのことで、修正はされなかった。

4．会議予定と今後の予定

今回の会議で、完了しなかった節と試験方法と試験結果が漏れている節を完成させるために、３月下旬にドラフティング会議を米国で開催し、CDV 案を完成させる。

[注]：1. 該当者は、出席会議終了後[6週間以内]に TC/SC/TA 担当委員経由で、IEC 活動推進委員会事務局宛ご提出下さい。
国際会議出席報告書の審議・承認の後に補助金を支払う。
会議終了後速やかに提出し、直近の運営委員会にて審議・承認を受けることが望ましい。
2. 本報告書は、同一会議に2名以上出席の場合、代表者が提出してください。
3. WG が TC/SC/TA と同時開催の場合は、WG 会議内容は TC/SC 報告に含めて報告書を提出して下さい。

（社）電子情報技術産業協会　　運営委員会・資料番号：161-3/TC100-①（事務局記入）
IEC 活動推進委員会　御中

出日：2007 年 3 月 12 日

（報告者記載）整理番号：H18TC100
予算無①B

IEC 国際会議出席報告書

TC/SC/TA 担当委員名：向井幹雄　報告書作成者氏名：江崎　正　（会社名）ソニー株式会社

出席会議名（半角）	区分		
TC100/TA9 & JTC1/SC25 Coordination Meeting	☐TC ☐SC ☒TA ☐WG ☐PT ☐その他	組織番号（TC/SC/TA）	TC100/TA9（半角）
	☐TC ☐SC ☐TA ☐WG ☐PT ☐その他	名称（日本語）	ｵｰﾃﾞｨｵ･ﾋﾞﾃﾞｵ･ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱｼｽﾃﾑ,機器及びｴﾝﾄﾞﾕｰｻﾞﾈｯﾄﾜｰｸ
	☐TC ☐SC ☐TA ☐WG ☐PT ☐その他		
	☐TC ☐SC ☐TA ☐WG ☐PT ☐その他	☒単独開催　☐同時開催	
開催期日	2007 年 3 月 1 日 ～ 2007 年 3 月 1 日		
開催場所	（国名）中国	（都市名）北京	
ﾁｪｱﾏﾝ／ｺﾝﾍﾞﾅ	平川幹事	幹事国　日本	
参加国及び参加人数	02 ヶ国、主な国名 中国、日本、参加人数（10 名）		
日本人出席者名（会社名）	[○：補助対象者･･･（例）：○ 電子太郎(JEITA 電子)] 平川(東芝)、向井(ｿﾆｰ)、○江崎(ｿﾆｰ)		

議事概要（背景･目的･成果･問題点など）（この欄は、見かけは 1 行ですが、所定欄に改行しながら最大 28 行まで記入できます。）

この会議は、ホームネットワーク関連の標準化に関し、TC 100/TA 9 と JTC 1/SC 25 のコンフリクトを防ぐために設定されたもので、特に中国から提出された新規提案、100/1148/NP に関するコーディネーションが主な目的である。残念ながら、直前になって JTC 1/SC 25 の参加予定者が参加できないことになり、結果として、100/1148/NP に関する中国 NC と TC 100 幹事国とのコーディネーション会議という位置付けになった。（当初の目的が、中国の NP に対するコーディネーションであったので初期の目的は達成した。）

中国 NC に対し、ホームネットワークに関し、TC 100/TA 9 と JTC 1/SC 25 で標準化作業の重複、コンフリクトを避けるべくコーディネーションが重要なことを、リエゾン文書、SMB 文書を示して TC 100 幹事国として説明し、納得させた。中国 NC も状況を理解し、この NP 案の修正について柔軟な姿勢を示した。

NP に対する、各国コメントについて、会議中に中国 NC と共同で Secratriat Observation を作成した。この Observation には、SC 25 あるいは他の Forum とのリエゾン、調査の必要性を盛り込んでおり、SC 25 側から見ても納得できるものとなった。

成果
・中国 NC に JTC 1/SC 25 とのコーディネーションの必要性を納得させることができた。
・RVN を発行するための、各国コメントに対する Observation を作成することができた。
・SC 25 の参加はなかったものの、コーディネーション会議を設定したという実績を作ることができた。

次回の TC 100/TA 9 と JTC 1/SC 25 とのコーディネーション会議は 5/18 に予定されている。
以上

[注]：1. 該当者は、出席会議終了後[6週間以内]に TC/SC/TA 担当委員経由で、IEC 活動推進委員会事務局宛ご提出下さい。
国際会議出席報告書の審議・承認の後に補助金を支払う。
会議終了後速やかに提出し、直近の運営委員会にて審議・承認を受けることが望ましい。
2. 本報告書は、同一会議に 2 名以上出席の場合、代表者が提出してください。
3. WG が TC/SC/TA と同時開催の場合は、WG 会議内容は TC/SC 報告に含めて報告書を提出して下さい。
4. 報告書の追加、訂正が生じた場合は、運営委員会開催後1週間以内に事務局に提出して下さい。
5. この報告書は、手続き完了後、JEITA ホームページ「IEC 活動推進委員会」に掲載し、会員企業への報告に替えます。

IEC 活動推進委員会事務局：(社)電子情報技術産業協会　標準化センター
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-11（三井住友海上別館ビル）　Tel：03-3518-6435　Fax：03-3295-8727

(TSC-06 様式 2006.3)

（社）電子情報技術産業協会
IEC 活動推進委員会　御中

運営委員会・資料番号：　161-3／CISPR I-①

様式 4

提出日: 2007 年 2 月 3 日

（報告者記載）整理番号：CISPR I-④

IEC 国際会議出席報告書

TC/SC/TA 担当委員名：　玉田　正信　　報告書作成者氏名：　千代島　敏夫　（会社名）(株)ＰＦＵ

出席会議名（半角）	区　分	組織番号 (TC/SC/TA)	CISRP SC-I (半角)
CISPR I WG4 WG2（併催）	□ＴＣ □ＳＣ □ＴＡ ☒ＷＧ □ＰＴ □その他		
	□ＴＣ □ＳＣ □ＴＡ □ＷＧ □ＰＴ □その他	名　称 (日本語)	マルチメディア機器等に関する EMC
	□ＴＣ □ＳＣ □ＴＡ □ＷＧ □ＰＴ □その他		
	□ＴＣ □ＳＣ □ＴＡ □ＷＧ □ＰＴ □その他	□単独開催　☒同時開催	
開　催　期　日	2007 年 1 月 8 日 ～ 2007 年 1 月 9 日		
開　催　場　所	（国名）フランス	（都市名）パリ	
ﾁｪｱﾏﾝ／ｺﾝﾍﾞﾅ	Davies	幹事国　日本	
参　加　国及び 参　加　人　数	13 ヶ国、主な国名 英国、フランス、イタリア、デンマーク、ドイツ、米国、、参加人数（36）		
日　本　人 出席者名（会社名）	[○：補助対象者･･･（例）：○ 電子太郎(JEITA 電子)] 雨宮 不二雄／NTT アドバンストテクノロジ(株)、秋山 佳春／NTT 環境エネルギー研究所、山口 高／日本 IBM、○堀 和行／ソニー(株)、○千代島 敏夫／(株) PFU		

議事概要（背景･目的･成果･問題点など）（この欄は、見かけは 1 行ですが、所定欄に改行しながら最大 28 行まで記入できます。）

CISPR I WG4 では、マルチメディアイミュニティ規格 CISPR 35 の検討をしている。昨年３月に DC が各国に配布されコメントが審議され今回 CD の作成の検討が実施された。
主な決定事項を次に示す。
(1) 付則Ｆのオーディオ機能の判定基準の TF の提案が議論され、伝導イミュニティでは、10-30MHz で印加電圧を 3V から 1V へ減衰、30-80MHz 以下では１Ｖに変更した代わりに、判定基準は一定として、CISPR 24 と同等とした。
(2)　付則 E の表示機能の判定基準の TF の提案が議論され、判定基準は「試験レベルを 3dB 低下し表示の劣化が認められなくなった場合その劣化は許容される。」となった。
(3)1GHz 以上の電磁界イミュニティについて TF からの提案が議論され、携帯電話から妨害を考慮し、890-915MHｚ　6V/m 80% 1kHzAM or 10V/m 200Hz 50%パルス変調を追加、1GHz 以上は不要という提案が CD に採用された。
(4) Pro 用 AV 機器規格(EN55103-2)要求から複数の環境（限度値）を CISPR 35 に盛り込むことが検討されたが、反対が多く限度値はひとつのままとすることが決定された。
今後の予定は、３月に CD を回付、８月にコメントを審議、９月のシドニー会議で CDV 化について審議予定。

同時開催の WG2 は、マルチメディア機器のエミッション規格 CISPR 32 の検討を担当している。昨年 CD に対し 800 を越えるコメントが寄せられたため、今回 2nd.CD の作成検討を実施した。主な決定事項を次に示す。
(1)適用範囲：すべての受信機を対象とすることとした。(例：GPS 受信機も含まれる)
(2)表示装置の試験条件として、カラーバー＋ムービングエレメントが合意された。
(3)イーサネットについて、除外は削除された。かわりに、複数のスピードをサポートする場合最高速度のみ試験することが合意された。
(4)日本提案の室外機の放射測定方法 F4.5 は CD に採用され NC の意見を聞くこととなった
今後の予定は、３月中に 2nd.CD を回付、８月にコメントを審議、９月のシドニー会議で CDV 化について審議予定。

[注]：1. 該当者は、出席会議終了後 [6週間以内] に TC/SC/TA 担当委員経由で、IEC 活動推進委員会事務局宛ご提出下さい。
国際会議出席報告書の審議・承認の後に補助金を支払う。
会議終了後速やかに提出し、直近の運営委員会にて審議・承認を受けることが望ましい。
2. 本報告書は、同一会議に2名以上出席の場合、代表者が提出してください。
3. WG が TC/SC/TA と同時開催の場合は、WG 会議内容は TC/SC 報告に含めて報告書を提出して下さい。
4. 報告書の追加、訂正が生じた場合は、運営委員会開催後1週間以内に事務局に提出して下さい。
5. この報告書は、手続き完了後、JEITA ホームページ「IEC 活動推進委員会」に掲載し、会員企業への報告に替えます。

IEC 活動推進委員会事務局:(社)電子情報技術産業協会　標準化センター
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-11（三井住友海上別館ビル）　Tel：03-3518-6435　Fax：03-3295-8727